

令和元年度

富山県
税務統計書

令和元年度

富山県税務統計書



富
山
県

富山県経営管理部税務課

は じ め に

令和元年度の本県経済については、景気が緩やかに回復していたものの、令和2年2月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況となりました。個人消費や生産は減少し、有効求人倍率も低下しました。

一方、本県の令和元年度県税収入決算額については、新型コロナウイルス感染症の影響は見られず、1,424億49百万円となり、平成30年度決算額に対して+1.1%、+15億16百万円と2年連続の増加となりました。これを税目別（現年課税分）に見ると、法人関係二税は、一定業種における企業収益の向上等に伴う法人事業税の増により、対前年度比+3.2%に、個人県民税は、就労が進んだことから、納税義務者数の増等により+0.9%となったほか、地方消費税は、実質的な税収が+1.6%、軽油引取税は、軽油の引取数量の減少により▲2.7%、自動車取得税は、令和元年9月末で廃止されたことにより▲48.7%となりました。

また、徴収については、現年課税分における県税全体の収入率は99.4%と前年度から横ばいとなり、現年課税分・滞納繰越分を合わせた県税全体の収入率については、98.4%と前年度から横ばいとなりました。現年課税分と滞納繰越分を含めた県税の収入未済額は、前年度からほぼ横ばいの22億7百万円となりましたが、個人県民税が、対前年度比▲1億円で9年連続、旧自動車税が、対前年度比▲8百万円で14年連続で減少となりました。

本書は、令和元年度の県税決算額を中心に、県税に関する各種資料を収集したものであり、関係各位には、県税についてのご理解の一助として本書をご活用いただければ幸いです。

令和2年12月

富山県経営管理部税務課長 伊藤 彰彦